

## Web Publishingの推進



## 研究者総覧との連携

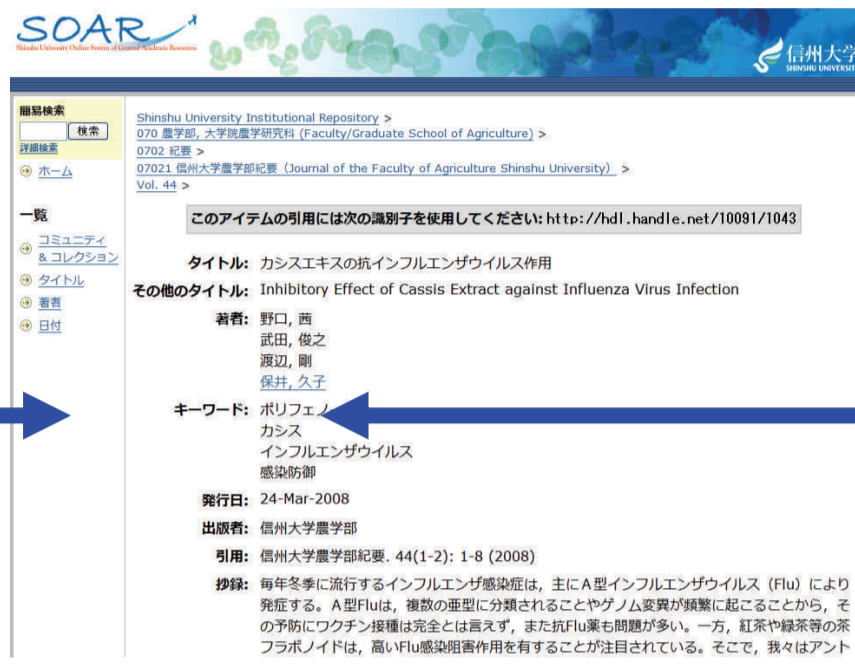
- ✚ 紀要発行のプラットフォームとして  
リポジトリを活用
- ✓ 紀要の視認性アップ
- ✓ 発行コスト削減

- ✚ 業績一覧と論文本文をリンクで直結
- ✓ より多くの情報を閲覧者に提供
- ✓ 研究者・大学の視認性向上へ

### 紀要の目次



### 論文の本文はリポジトリに đăng載



### 研究者情報ともリンク



# 持続可能なリポジトリをめざして

## 信州大学 平成19年度CSI委託事業の取り組み

### Web of Science® データの遡及入力

- ✚ 信州大学所属教員の研究業績を  
Web of Scienceで調査
- ➡ 研究者総覧へ業績として追加
- ➡ リポジトリへの論文提供依頼
- ✓ データの充実を図る
- ✓ 教員へのPRによる定着
- ✓ 学内予算を確保



### 海外との情報交換・ 人材育成

- 🌐 米ロチェスター大学訪問  
— 研究者総覧とリポジトリとの連携や、  
研究者との協働に関する情報・意見交換
- 🌐 OAI-ORE Roll-Out Meeting参加  
— 学術情報流通をめぐる新技術の情報収集
- 🌐 SOAR共同開発先  
でのシステム研修  
— メンテナンスや  
拡張の参考に



ロチェスター大学図書館にて

**Progress in Informatics No. 5に  
SOAR開発レポートが掲載されました！**

ISHIZAKA Kenji; IWAI Masashi; GOKAN Masato; OHBA Hideho;  
SAKAGUCHI Ryo. Development of the Shinshu University  
Online System of General Academic Resources (SOAR). Pro-  
gress in Informatics. 2008, Vol. 5, pp. 137-151.

[doi:10.2201/NiiPi.2008.5.11](https://doi.org/10.2201/NiiPi.2008.5.11) (出版者版)

<http://hdl.handle.net/10091/1024> (リポジトリ)

※リポジトリには日本語版もあります

その他の発表資料もSOAR-IRで公開中です。

2007/6/8 NIIオープンハウス2007 発表資料

<http://hdl.handle.net/10091/252>

2007/11/8 第9図書館総合展 発表資料

<http://hdl.handle.net/10091/484>

2008/1/31 DRF I. C. 2008 発表資料

<http://hdl.handle.net/10091/970>

今回新たに開発した研究者総覧システム、および  
DSpace用研究者総覧連携プログラムを、  
大学・研究機関にむけて無償提供いたします。

信州大学の研究者総覧は、各種情報源へのリンク  
による学術情報のプラットフォームとして設計さ  
れ、高い自由度と拡張性を備えています。

連携プログラムでは、DSpaceを拡張し、研究者総  
覧や外部データベースとのリンクを実現します。

20年度、1件の提供を実施しました。

申し込み方法など、詳しくは、SOAR情報提供サイ  
トをご覧ください。

<http://shinlis9.shinshu-u.ac.jp/soar/>

**開発システム  
無償提供のご案内**